

村道半場線(ふれあい橋)開通

3月25日(水)、村道半場線開通式が晴天のなか執り行われました。

村道半場線(1-2号線)は、ふれあい広場を通る、奥沢地区と御堂地区を結ぶ新規道路です。間を流れる槻川には「ふれあい橋」が架設されました。大型車がすれ違える道幅があり、槻川小学校の児童たちが安全に登下校できるようになっています。この道路は、平成24年度より総事業費2億1378万89円(国庫補助金1億2415万円)をかけ完成しました。事業概要は以下のとおりです。

当日はテープカットが行われ、くす玉割りと和太鼓の演奏で華々しく開通が祝われました。式典には多くの来賓を迎え、たくさんの祝辞をいただき、また、道路建設にご協力いただいた8名の方(下記参照)と、村に対して多額の寄付をいただいた秩父鋳業株式会社代表取締役羽田直弘様に感謝状および記念品が贈られました。

なお、橋には「ふれあい橋」、「槻川」の表記がされていますが、ひらがな表記は「ふれあいはし」、「つきかわ」とし、濁点が付かないようにしています。これは川が濁らず清らかであることを願って習慣づけられたものとのことでした。



感謝状被贈呈者

梅江江清水清水福島福島松	澤原原清水清水島島崎	夕國純英博康光	ク様 利様 宏様 子様 男様 志様 雄様 宏様
--------------	------------	---------	--

事業概要

名称：村道半場線(1-2号線)
(橋梁名称：ふれあい橋)
道路延長：188m(橋梁38.3m)
道路幅員：9.5m(車道7.0m、
歩道2.5m)
道路区分：3種4級
設計速度：30km/h
車線数：2車線(対面)、
歩道あり
橋梁下部：逆T式(橋台2基、
橋脚1基)
橋梁上部：PC橋プレテンション方式
スラブ桁

花の名所から ~各地で花まつりなどが行われました~

【虎山式千本桜】



坂本地区では、採石場跡地の虎山に、今年は昨年より多い「式千本桜」が開花し、4月5日(日)に桜まつりが開催されました。また、4、5日と11日には、株式会社羽音出版「コスBON fantasy」主催のイベントが行われ、アニメなどの衣装に身を包んだ「コスプレイヤー」が集結し、式千本桜をバックに写真を撮っていました。

【第10回花桃まつり】



大内沢地区では、3月29日(日)、毎年恒例となった花桃まつりが開催されました。花桃が映える晴れた空と、和太鼓や雅楽の演奏に会場は華やかな雰囲気になっていました。会場を訪れた多くの方が「毎年鮮やかな花桃を楽しみにしています」とおっしゃっていました。

【白石地区「花の中の写真展」】

白石地内において4月4日(土)から26日(日)まで、東秩父友会主催の「花の中の写真展」が開催されました。この写真展は毎年恒例となっており、県外からも「楽しみです」と期待の声を聞きます。白石地区の花々がつくる風景は、どこを切り取っても一枚の絵画のようであり、飾られた写真と全景を組み合わせると美しい大きな芸術作品のようでした。来年も素敵な作品を期待しています。

